

授業カブラッシュアップ[®]研修会Ⅰ・Ⅱ



学習指導要領の趣旨や、学習定着度状況調査等の結果を踏まえ、授業における言語活動の充実に視点を置いた学習活動や学習評価の在り方等を改善するための提案授業・講義・演習を実施しました。

今回は、4つの研修会のうち小学校図画工作科と中学校社会科の研修会の様子を紹介します。

小学校 図画工作科

思いを引き出すための絵画指導の在り方
— 互いにかかわり合う活動を通して —

(1) 提案授業

「墨のうた」6年

授業者：奥州市立江刺愛宕小学校 教諭 及川 陽子
助言者：県南教育事務所 指導主事 菊池 靖

★ねらいにせまる指導過程の工夫

・身に付けさせたい基礎的・基本的内容を明確にして、墨の美しさや表現の深さを実感しねらいを達成するために、表現の面白さや不思議さなどを十分に楽しみ作品として表現ができるような、材料や道具を工夫しました。



★一人一人に「思い」をもたせる絵画表現活動の工夫

・新しい発見や気づきをもたせるために「自分の作品と向き合い表現→小グループで鑑賞し交流→友達の仕事に題名をつける→自身の作品の題名を発表」の流れで表現活動に取り組みました。
・グループで鑑賞し、互いにかかわり合うことで新たな気づきをもち、さらに自身の作品の深化へと結びつけ、思いを広げることができました。

★資料を活用した学習内容・方法の工夫

・学習シートを活用して、自分と他者との気づきや感性の違いに触れ作品交流を行うことで、自分の思いを深め、題名を設定することができました。

(2) 講義・演習

「図画工作科指導のポイントについて」

講師：県南教育事務所 指導主事 菊池 靖

- ① 授業内容について参加者自身が実体験することで、ねらいとする表現に適した材料や道具を選択することの大切さについて確認しました。
- ② 育成する資質や能力を明確にしたねらい及び指導計画のもと、主体的な思考・判断・表現が保障された学習内容を展開することで、思いが込められた作品の深化へと結びつけていくことが大切です。

中学校 社会科

基礎的・基本的な知識や技能を習得し、社会的な見方や考え方を身に付ける社会科授業の在り方
— 諸資料を関連させ、社会的事象を読み取る活動を通して —

(1) 提案授業

「世界の諸地域 第4節 北アメリカ～工業の特色～」1年

授業者：奥州市立東水沢中学校 教諭 金野 暁人
助言者：奥州市教育委員会 指導主事 菊池 勉

★生徒へ問題意識をもたせる導入の工夫

・身に付けさせたい基礎的・基本的内容を教えるとともに、身近な工業製品をもとにアメリカの工業の位置付けや歴史の概要を確認しました。
・教師が「教えること、考えさせること」の使い分けを意識し、資料を使って生徒の問題意識を高めました。

★「なぜ」を解決する協同的な学び

・学習課題を解決するために、学習シートを使いながら資料の視点を確認し、4人グループを活用して協同的に資料から事象を読み取りました。
・「考えさせる資料」「興味をもたせる資料」「確認する資料」と資料を使い分け、読み取りの視点や考え方を具体的に提示することにより、的確に資料を読み取らせました。



★構造的な板書による概念をとらえさせる工夫

・導入時でのアメリカの地図、確認資料、キーワードを使った学習のまとめにつながりをもたせたことは、アメリカの特長を工業の側面からとらえさせることに効果的でした。

(2) 講義・演習

「資料を活用した学習課題の作り方について」

講師：奥州市教育委員会 指導主事 菊池 勉

- 下記の2点について、講義・演習をとおして確認しました。
- ① 「興味関心」「問題意識」をもたせるような資料を活用した導入により、生徒が解決の必然性をもつような学習課題を設定すること。
 - ② 「学習目標」及び「学習のまとめ」から学習課題を考え、展開の資料を精選し、読み取りの視点を明確にして資料を読み取らせること。